

平成 30 年度

入学試験数学問題

〔注 ○解答はすべて解答用紙に記入すること。
○問題用紙は持ち出さないこと。〕

[1] 次の計算をしなさい。

$$(1) \quad 5 \times (-2)^2 - 4 \times 6$$

$$(2) \quad \frac{1}{6} - \left(-\frac{1}{2} \right)^2 \div \left(-\frac{9}{8} \right)$$

$$(3) \quad \left(-\frac{2}{3}ab \right)^2 \times 3b^2 \div 2ab^3$$

$$(4) \quad \frac{2}{\sqrt{2}} + 2\sqrt{72} - \frac{4}{\sqrt{8}} - \sqrt{50}$$

$$(5) \quad (2x - 3)(2x + 3) - (2x - 3)^2 - 12x$$

$$(6) \quad \frac{x-1}{2} - \frac{x-2}{3} - \frac{x-3}{4}$$

[2] 次の各問いに答えなさい。

(1) 1次方程式 $\frac{3x-1}{2} = \frac{5x+7}{3}$ を解きなさい。

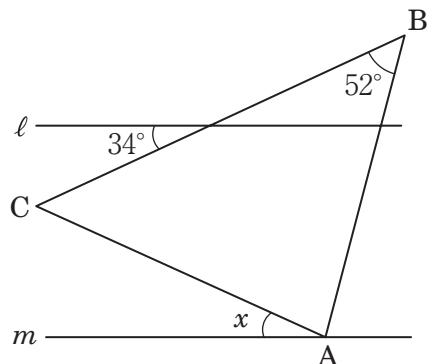
(2) 2次方程式 $2x^2 + 3x - 1 = 0$ を解きなさい。

(3) y は x に反比例し、 $x = 2$ のとき $y = -3$ である。 $x = 9$ のときの y の値を求めなさい。

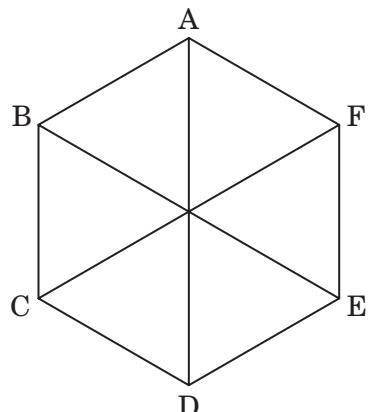
(4) $a = \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{5}$, $b = \frac{\sqrt{6} - 2\sqrt{2}}{5}$ のとき、 $a^2 - 2ab + b^2$ の値を求めなさい。

(5) 2次方程式 $x^2 + ax + b = 0$ の2つの解が -3 , 2 であるとき、定数 a , b の値をそれぞれ求めなさい。

(6) 次の図で、 $\ell \parallel m$, $AB = AC$ であるとき、
 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



(7) 正六角形 ABCDEF の頂点から3点を選んで三角形を作るとき、直角三角形ができる確率を求めなさい。



[3] 図のような平行四辺形 ABCD があり, 3つの頂点 A, B, D は, 放物線 $y = \frac{1}{2}x^2$ 上, 頂点 C は y 軸上にある。

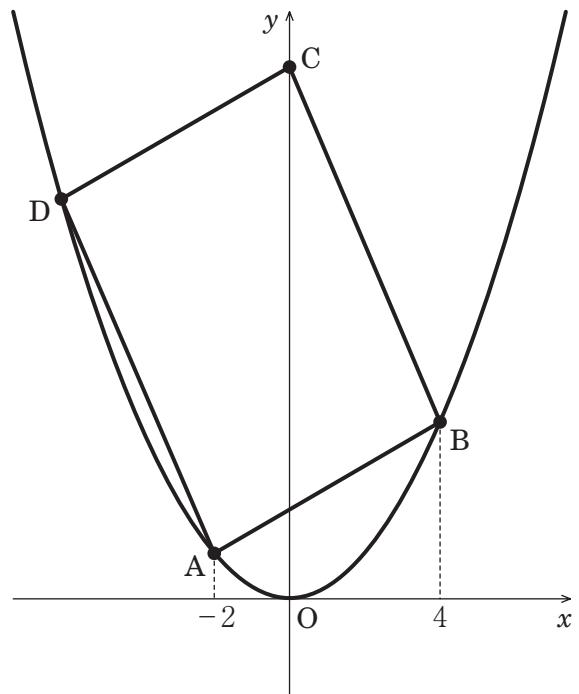
点 A の x 座標を -2, 点 B の x 座標を 4 とするとき, 次の問い合わせに答えなさい。

(1) 点 A の座標を求めなさい。

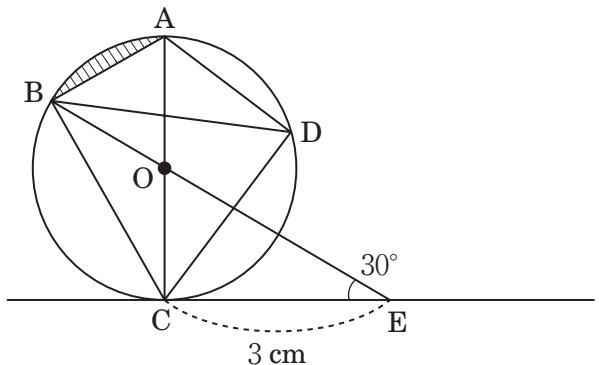
(2) 2 点 A, B を通る直線の式を求めなさい。

(3) 平行四辺形 ABCD の面積を求めなさい。

(4) 原点 O を通り, 平行四辺形 ABCD の面積を二等分する直線の式を求めなさい。



[4] 図のように、円Oの周上に4点A, B, C, Dがあり、点Cにおける円Oの接線上に点Eがあり、線分AC, BEがともに中心Oを通る。



$\angle BEC = 30^\circ$, $\widehat{AD} : \widehat{DC} = 2 : 3$, $CE = 3\text{ cm}$ のとき、次の問い合わせに答えなさい。
ただし円周率は π とする。

(1) $\angle BDC$ の大きさを求めなさい。

(2) $\angle BAD$ の大きさを求めなさい。

(3) $\triangle ABC$ の面積を求めなさい。

(4) 斜線部の面積を求めなさい。

[5] 図のように、1辺の長さが $4\sqrt{3}$ cm の正三角形 ABC を底面とし、他の辺の長さが 8 cm の正三角錐がある。

辺 BC の中点を P とし、AQ + QB の長さが最小になるように、辺 OC 上に点 Q をとる。

このとき、次の問い合わせに答えなさい。

(1) 線分 OP の長さを求めなさい。

(2) $\triangle OBC$ の面積を求めなさい。

(3) AQ + QB の長さを求めなさい。

(4) この立体を 3 点 A, B, Q を通る平面で 2 つに分けるとき、点 O を含む側の立体の体積を求めなさい。

